

# 2010年度上期決算説明会

2010年11月22日  
株式会社大阪チタニウムテクノロジーズ

1

## 目次

---

10年度上期 決算実績

10年度通期 業績見通し

市場の動向

当社生産対応の進捗状況

2

## 10年度上期 決算実績

3

## 10年度上期 決算業績

				<参考> (億円)	
	10年度上期 10/8予想	10年度上期 実績	増減 予想 実績	09年度上期 実績	増減 09上 10上
売上高	144.0	144.7	+ 0.7	173.5	28.8
営業利益	8.0	14.0	6.0	18.6	32.6
営業外損益	4.0	4.9	0.9	6.9	+ 2.0
経常利益	12.0	18.9	6.9	11.7	30.6
特別損益	17.0	15.0	+ 2.0	0.3	14.7
税引前当期利益	29.0	33.9	4.9	11.4	45.3
当期純利益	17.0	20.0	3.0	6.4	26.4
(為替レート)	(90円/\$)	(90円/\$)		(96円/\$)	(6円/\$円高)

4

## 10年度上期 8月予想との損益差異

(億円)

	営業利益		営業外	特損	税前利益
為替影響	低價法、期末レート 87 84円/\$	2	1		3
コスト合理化	増産による生産効率改善上積み	+ 1			+ 1
科目振替	特損との振替 (ポリシリコン操業停止損)	2		+ 2	-
その他	棚卸評価損他	3			3
計		6	1	+ 2	5

5

## 10年度上期 セグメント別業績

(億円)

	10年度上期		09年度上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
チタン事業	113.6	9.5	104.4		+ 9.2	
ポリシリコン事業	15.9	7.5	61.0	N/A	45.1	N/A
高機能材料事業	15.2	3.0	8.1		+ 7.1	
計	144.7	14.0	173.5	18.6	28.8	32.6

6

## B / Sの概要

「総資産」：前年度末比 74億円の増 (10/3E 943 10/9E 1017億円)

資産の部	<b>流動資産 37億円減</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手許資金の減(短期運用有価証券含む) 12億円</li> <li>・売上債権の減 5億円</li> <li>・棚卸資産の減 21億円</li> </ul>		
	<b>固定資産 +111億円増</b>		
	・有形固定資産の増	+	98億円
負債及び資本の部	<b>負債の部 +98億円増</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・借入金(リース債務含む)の増 + 35億円</li> <li>・買入債務の増 + 6億円</li> <li>・設備未払の増 + 47億円</li> <li>・資産除去債務の増 + 11億円</li> </ul>		(10/9E借入残高 409億円)
	<b>純資産の部 24億円減</b>		
	・利益剰余金の減		23億円
自己資本比率 10/3E 48.2 10/9E 42.4%			

7

## C / Fの概要

(億円)	
	10年度上期実績
税前償却前利益	+ 12
棚卸資産増減	+ 21
その他	+ 12
<b>営業活動によるC / F</b>	<b>+ 45</b>
有形固定資産取得	89
その他	0
<b>投資活動によるC / F</b>	<b>89</b>
借入金増減(リース債務含む)	+ 35
配当金	3
<b>財務活動によるC / F</b>	<b>+ 32</b>
<b>現金及び現金同等物増減</b>	<b>12</b>

手許資金残高 10/3E 27 10/9E 15

8

# 10年度通期 業績見通し

9

# 10年度通期 業績見通し

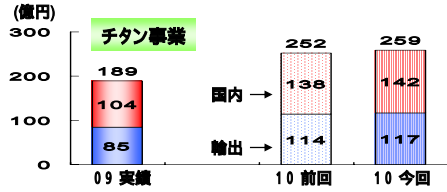
	10年度 前回予想 (8/25)	10年度 今回予想 (10/28)	増減		<参考> (億円)	
			前回	今回	09年度 実績	増減 09 10
売上高	322.0	328.0		+ 6.0	319.1	+ 8.9
営業利益	55.0	64.0		9.0	15.6	79.6
営業外損益	7.0	9.0		2.0	11.3	+ 2.3
経常利益	62.0	73.0		11.0	4.3	77.3
特別損益	18.0	22.0		4.0	0.6	21.4
税引前当期利益	80.0	95.0		15.0	3.7	98.7
<b>当期純利益</b>	<b>46.0</b>	<b>56.0</b>		<b>10.0</b>	<b>1.2</b>	<b>57.2</b>
(為替レート)	(88円/\$)	(86円/\$)	(2円/\$円高)		(93円/\$)	(7円/\$円高)

(注) 営業外損益(億円) 内為替差損 前回 2 今回 4 増減 2

特別損益(億円)	前回	今回	増減	
シリコン操業停止損	13	11	+ 2	…営業利益との科目振替
過年度資産除去債務	3	3	-	
廃却・撤去損	2	8	6	…岸和田シリコン高圧ガス対応 による設備廃却増
計	18	22	4	

10

## セグメント別売上高

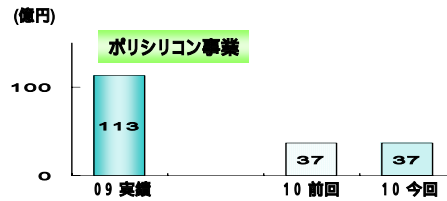


差異内訳(10前回 10今回) (億円)

	数量	単価	レート	計
チタン	+ 11	0	4	+ 7
ポリシリコン	+ 1	0	1	0
高機能	1	0	0	1
<b>計</b>	<b>+ 11</b>	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>+ 6</b>

為替レート前提 (円/\$)

	上期	下期	通期
前回予想	90	87	88
今回予想	90	83	86

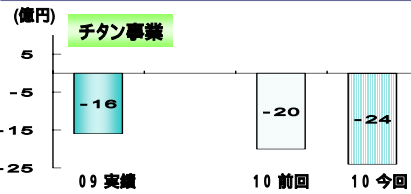


差異内訳(09実績 10今回) (億円)

	数量	単価	レート	計
チタン	+ 121	41	10	+ 70
ポリシリコン	61	13	2	76
高機能	+ 15	0	0	+ 15
<b>計</b>	<b>+ 75</b>	<b>54</b>	<b>12</b>	<b>+ 9</b>

11

## セグメント別営業利益



差異内訳(10前回 10今回) (億円)

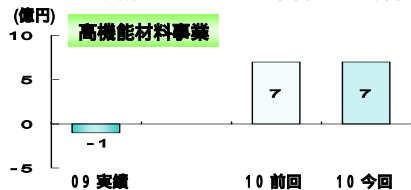
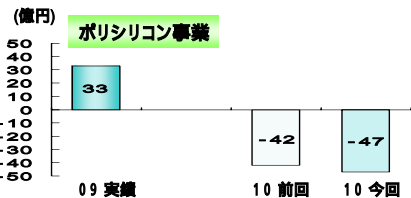
	数量	単価	レート	合理化	他	計
チタン	+ 3	0	5	+ 1	3	4
ポリシリコン	0	0	1	0	4	5
高機能	0	0	0	0	0	0
<b>計</b>	<b>+ 3</b>	<b>0</b>	<b>6</b>	<b>+ 1</b>	<b>7</b>	<b>9</b>

\*1 \*2

\*1 内 低価格法 2

\*2 内 チタン増産コスト関連 (増産準備前倒し) 2

ポリシリコン停止損 (特損との科目変更) 2



12

## 営業利益の増減要因(09実績 10予想)

(億円)

	09 実績	10 予想	増減 計	販売	単価	レート	増産	合理化	償却費	その他
				数量			関連 コスト		(除く増 産関連)	
チタン	16	24	8	+42	41	12	20	+5	+19	1
ポリシリコン	33	47	80	29	13	2	31	2	-	3
高機能材料	1	7	+8	+9	-	-	-	-	-	1
計	16	64	80	+22	54	14	51	+3	+19	5

\*1 レート 内低価法 5

\*1 \*2 \*2,\*3

\*2 増産関連コスト

	償却費	設備補修	労務費他	計
チタン	6	11	3	20
(2ndステップ)				
ポリシリコン	28	-	3	31
(岸和田)				
計	34	11	6	51

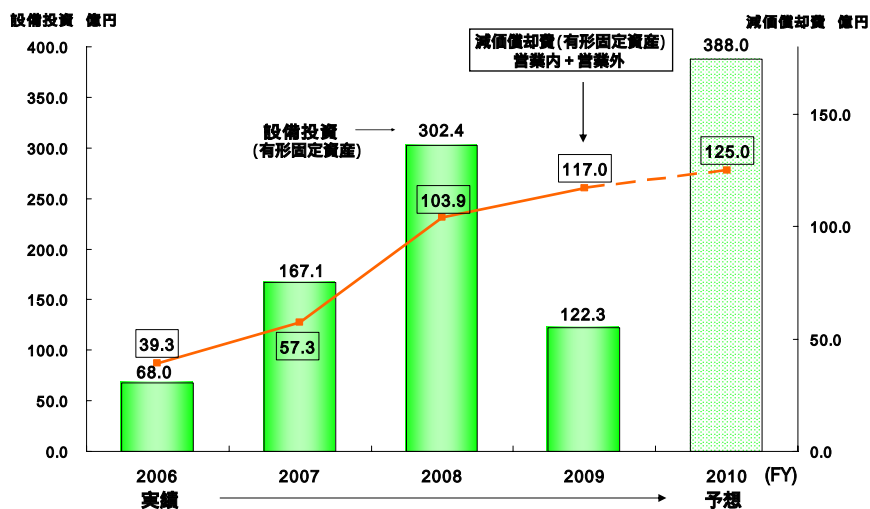
\*3 償却費

	09実績	10予想	増減
営業内	108	123	15
営業外	9	2	+7
計	117	125	8
増産関連	-	34	34
他	108	89	+19

13

(参考)

## 設備投資(土地除く)と減価償却費



14

## 市場の動向

- 1 スポンジチタン
- 2 ポリシリコン
- 3 高機能材料

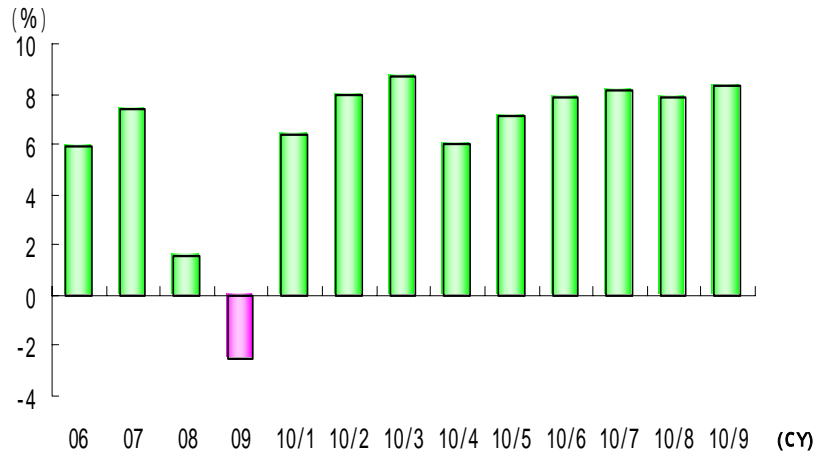
## チタン市場動向

	足元の状況	10年度下期以降の状況
航空機用 展伸材市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫調整の進展 (特にエンジン分野)</li> <li>・航空旅客需要の増加</li> <li>→ 〔 製作機数増(従来機) 補修増 〕</li> <li>・スクラップの還流不足</li> <li>↓</li> <li>エンジン分野主体にスポンジ 需要回復</li> </ul>	<p>エンジン分野主導の実需回復を受け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先ずスポンジチタンの 需要回復 ……2010～11年</li> <li>↓</li> <li>加工進捗によりスクラップ還流 加工歩留UP</li> <li>↓</li> <li>・実需増継続+スクラップ配合UP によりスポンジ需要 は安定拡大軌道へ ……2012年～</li> </ul>
一般産業用 展伸材市場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在庫調整進展 在庫積み増しへ</li> <li>・大型海水淡水化プラントへのチタンの大量採用</li> <li>↓</li> <li>展伸材出荷量、インゴット生産 量回復基調</li> <li>↓</li> <li>スポンジへの増量要求</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電力、海水淡水化分野等のインフラ需要を中心に 緩やかな需要回復・拡大</li> </ul>



< チタン市場動向 >

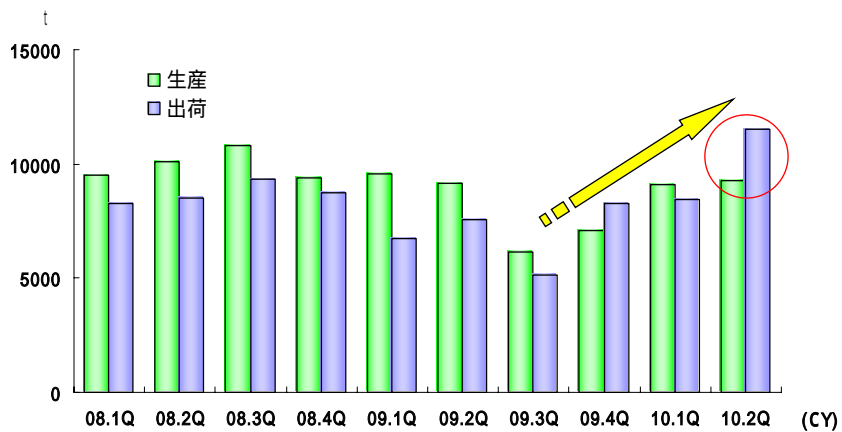
輸送量(有償旅客距離)の伸び率(対前年)



出典: IATAデータ

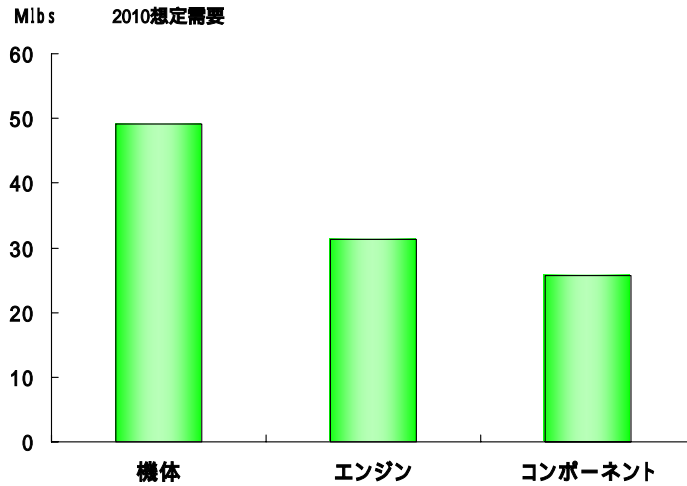
< チタン市場動向 >

米国のチタン生産・出荷実績(Q別)



出典: 米国内務省チタン統計

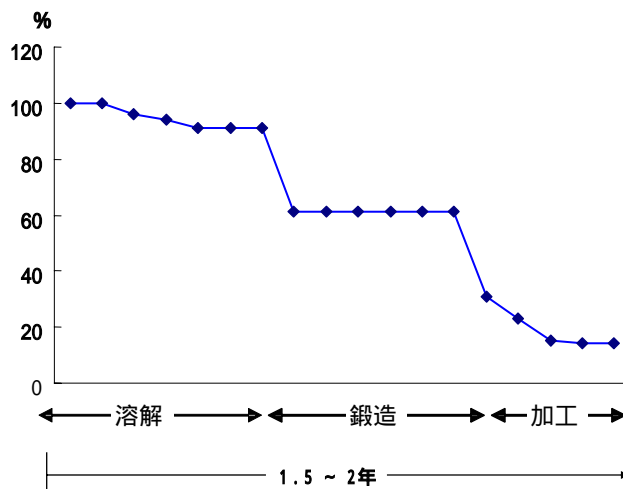
### 航空機用チタン合金使用分野別需要想定



出典: 2010 ITA Aero Strategy

19

### エンジン部品 通算歩留



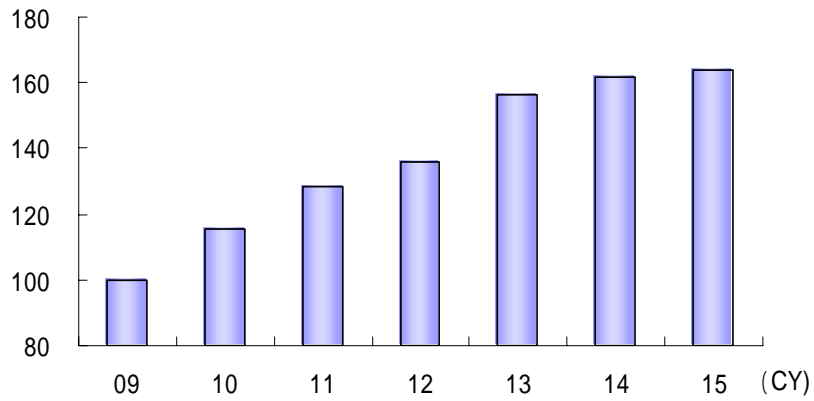
出典: 2010 ITA Rolls-Royce

20

<チタン市場動向>

### Rolls-Royce社のチタン消費計画

指数 09年 = 100

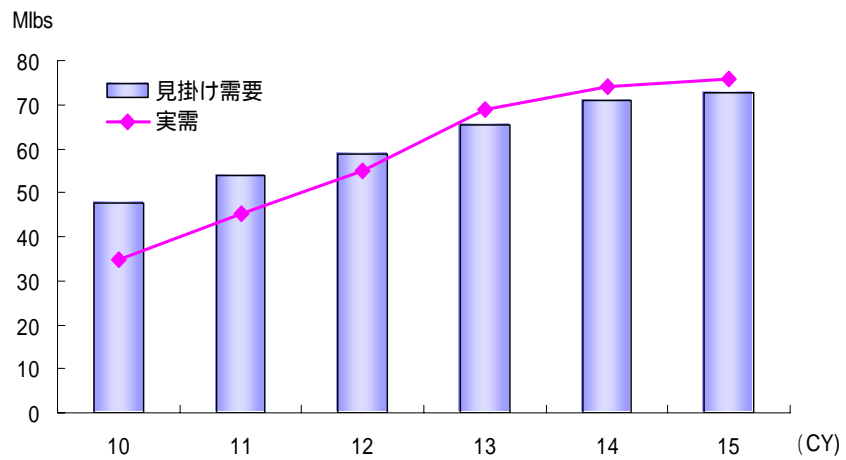


出典:2010 ITA Rolls-Royce

21

<チタン市場動向>

### 機体分野のチタン製品在庫調整見通し



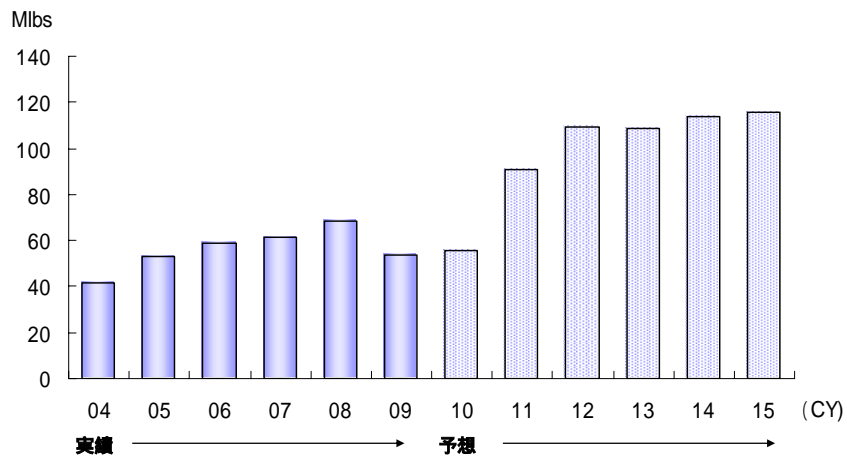
出典:2010 ITA Aero Strategy

22

<チタン市場動向>

otc OSAKA Titanium technologies Co., Ltd.

### 民間航空機用チタン需要見通し



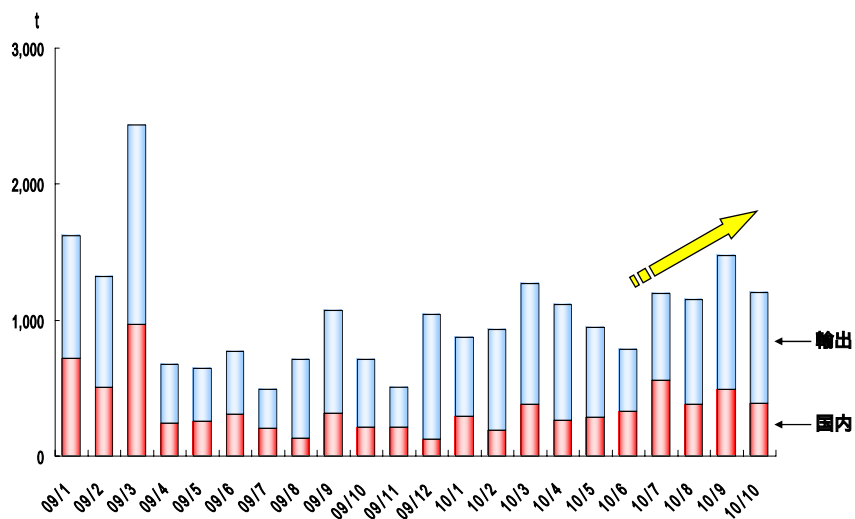
出典:2010 ITA RTI

23

<チタン市場動向>

otc OSAKA Titanium technologies Co., Ltd.

### 国内展伸材の出荷実績(月別)

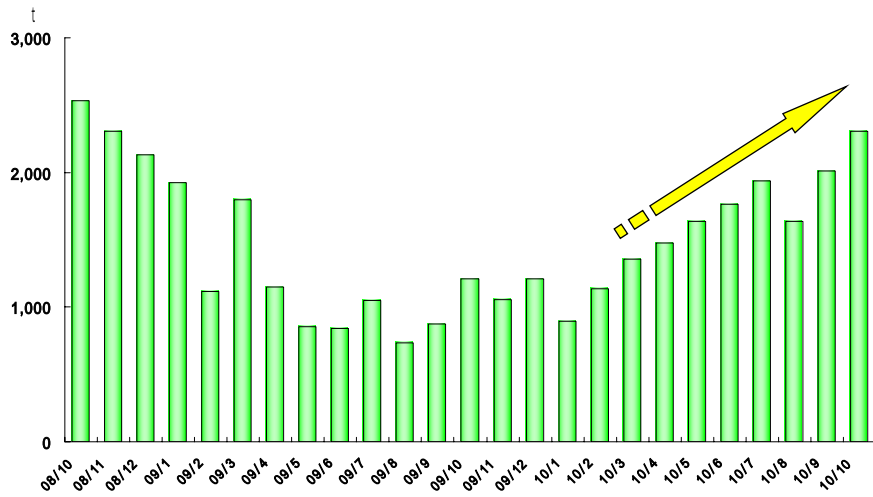


出典:日本チタン協会データ

24

<チタン市場動向>

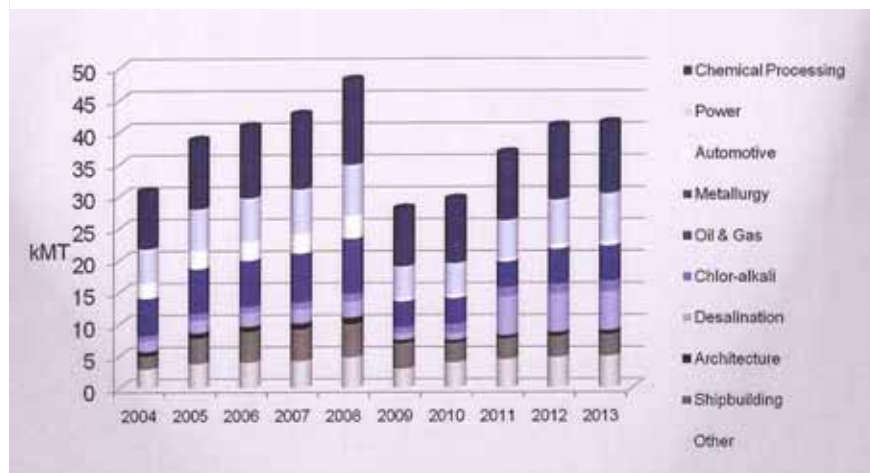
国内インゴット生産実績(月別)



出典: 日本チタン協会データ

<チタン市場動向>

一般産業用チタン需要見通し



出典: 2010 ITA UNITI

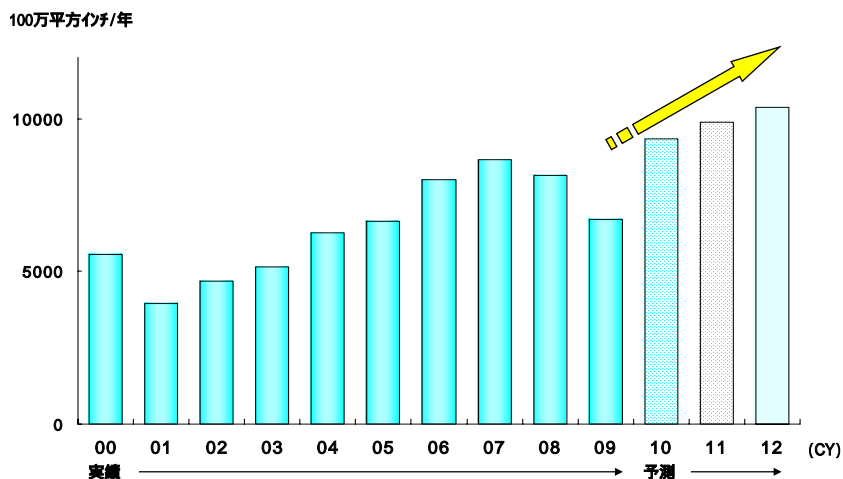
## ポリシリコン及び高機能材料の市場動向

	足元の状況	10年度下期以降の状況
ポリシリコン事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体需要の回復基調継続 但し、PC用等一部に調整の動き</li> <li>太陽電池需要拡大顕著</li> </ul> <p>↓</p> <p>ポリシリコン全体の需給タイト化 スポット価格の上昇</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体用ポリシリコンの需要は緩やかに拡大する一方、生産能力は限定的</li> </ul> <p>↓</p> <p>需給はほぼバランスした状態で推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽電池用需要は、今後も高い伸び率で拡大も生産能力の増加も急ピッチで進むため、中長期的には供給過剰の可能性あり</li> </ul>
高機能材料事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要3品種の需要堅調</li> <li>但し、半導体用需要の一部に調整の動き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>半導体用及び液晶用需要の安定拡大基調継続</li> <li>太陽電池用バックシート向けSiO<sub>2</sub>の需要伸張</li> </ul>

27

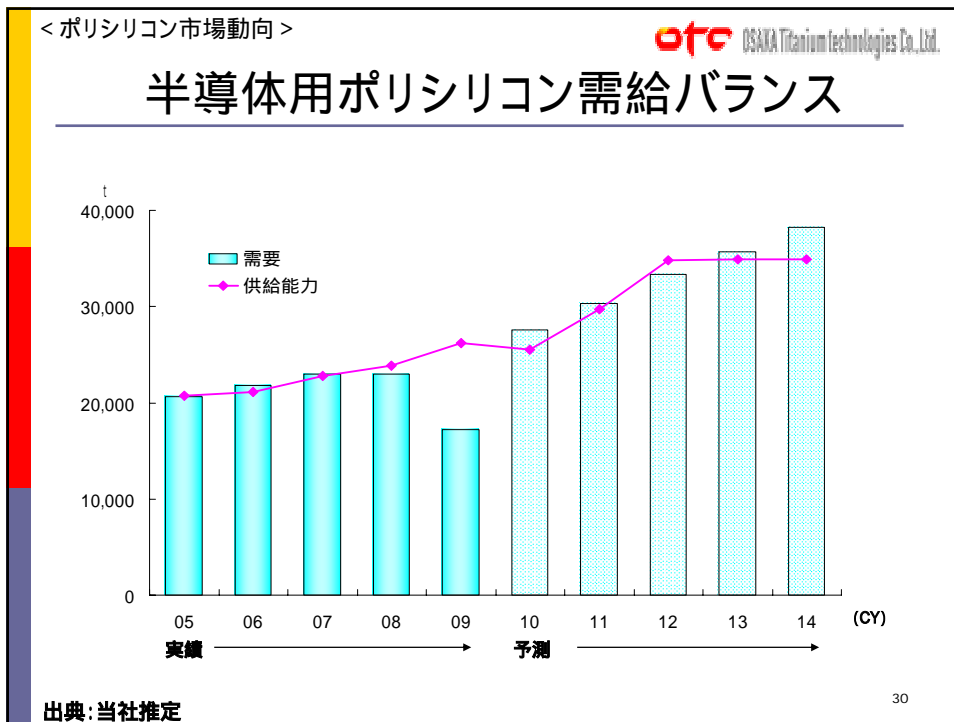
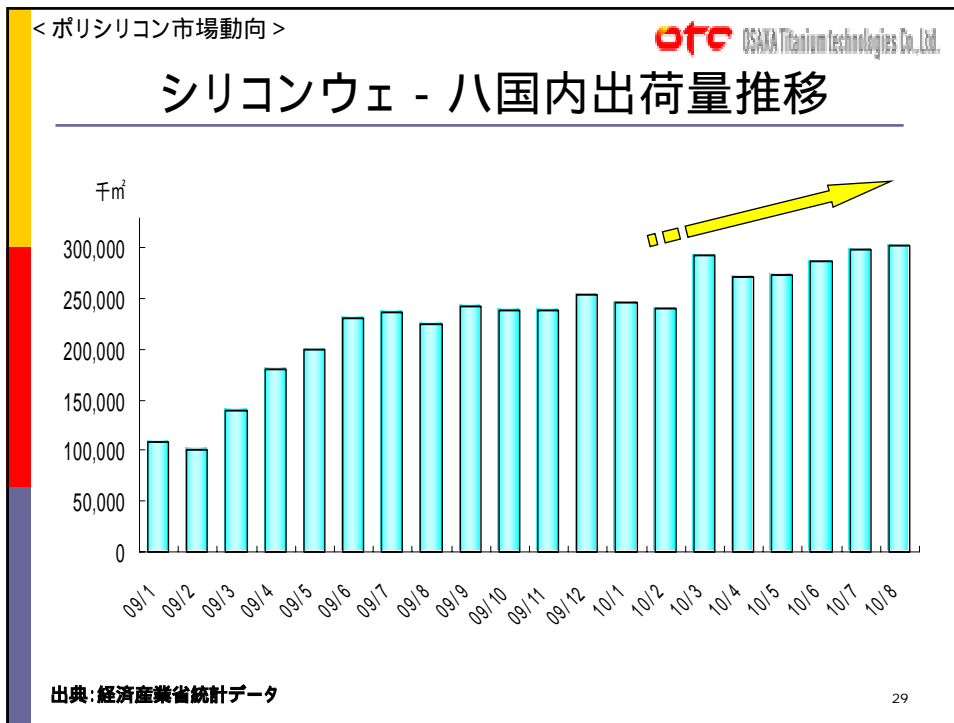
< ポリシリコン市場動向 >

## シリコンウェ - 八出荷面積(全世界)



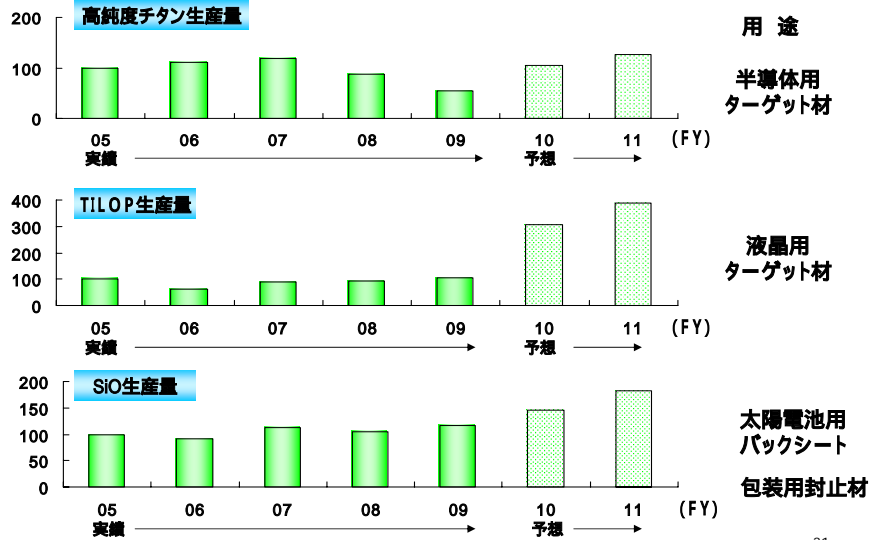
出典: SEMIデータ

28



## 高機能材料の販売量推移

05年を100とした指数



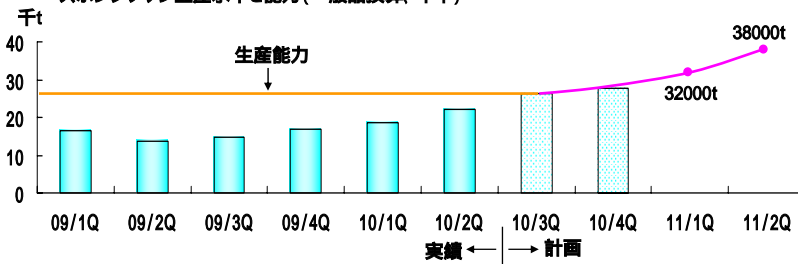
## 当社生産対応の進捗状況



## スポンジチタン増産対応の進捗状況

対応策	計画スケジュール(8月時点)	現在の進捗
2ndステップ能力増強 (+6000トン)	10年11月より順次立上げ 11年4月完成	還元炉立上げピッチの前倒し 11年3月完成
5トンバッチ炉の再稼働 (+6000トン)	11年2Qより再稼働	リフレッシュ工事の前倒しにより 11年1Qより順次立上げ
要員対応 (約100名の期間工採用)	10年12月までに採用	9、10月採用 70人 残り12月に採用予定

スポンジチタン生産水準と能力(一般品換算、年率)



33

## ポリシリコン及び高機能材料の増産対応

### <ポリシリコン>

尼崎工場 10年8月に年産900トンレベルで操業再開(従来能力1500トン)

#### 能力復旧のためのリカバリー工事を実施

- ・ 復旧後能力 年産1400トン
- ・ 時期 2011年4月

岸和田工場 11年2月営業運転開始に向け順調に工事進捗

- 11月初旬 工事完成
- 11月17日～ 上工程(転化、蒸留)から順次試運転開始

### <高機能材料>

SiO 太陽電池用バックシート需要拡大に伴い設備増強

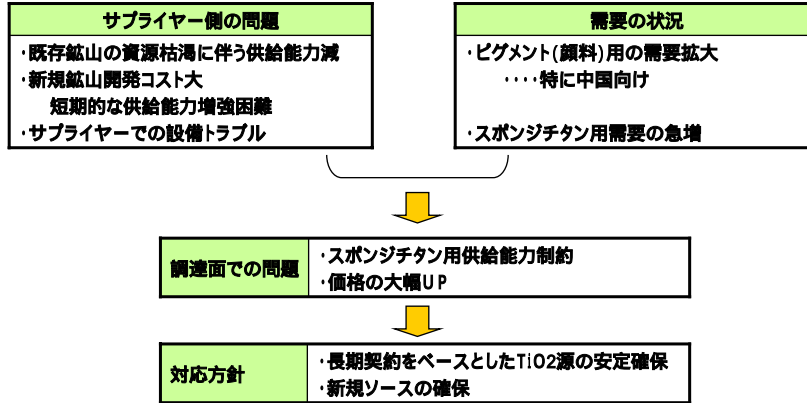
- ・ 増強設備 : 反応炉1基(4基 5基)
- ・ 増強能力 : 3割強UP
- ・ 完成時期 : 2011年3月末

34

## チタン原料の調達

スポンジチタンの急激な生産増に対し、チタン原料の調達面で下記の問題

(\*チタン原料:高品位のTiO<sub>2</sub>源・・・ルチル、合成ルチル、アップグレードスラグ)



35

## 終了

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、不確定要素を含んでおります。このため、様々な要因により、実際に生じる結果が予測内容と異なる可能性があることをご承知下さい。本資料利用によって生じるいかなる結果につきましても、当社が責任を負うものではありません。

36